

一般プロジェクト研究観測P1 (JARE48-51)

「氷床内陸域から探る気候・氷床変動システムの解明と新たな手法の導入」  
研究代表者PI 藤田秀二

## 第51次夏期内陸旅行実施計画(案)

参加メンバー(8名)

51次夏隊

気水圏雪氷 L本山秀明(極地研)

気水圏雪氷 平林幹啓(極地研)

51次夏隊同行者

公開利用研究:天文 瀬田益道(筑波大)

同行者:雪氷 西村大輔(北海道大学大学院)

交換科学者:雪氷 Chung Jiwoong(韓国極地研)

50次越冬隊

フィールドアシスタント SL樋口和生

機械 木塚孝廣

医療 森川健太郎

公開利用研究(瀬田)

南極天文学開拓のための基礎調査

同行者研究(西村)

GPSによる東南極白瀬流域の

表面流動速度観測および

南極内陸部浅層掘削研修



一般プロジェクト研究観測P1 (JARE48-51)

「氷床内陸域から探る気候・氷床変動システムの解明と新たな手法の導入」  
研究代表者PI 藤田秀二

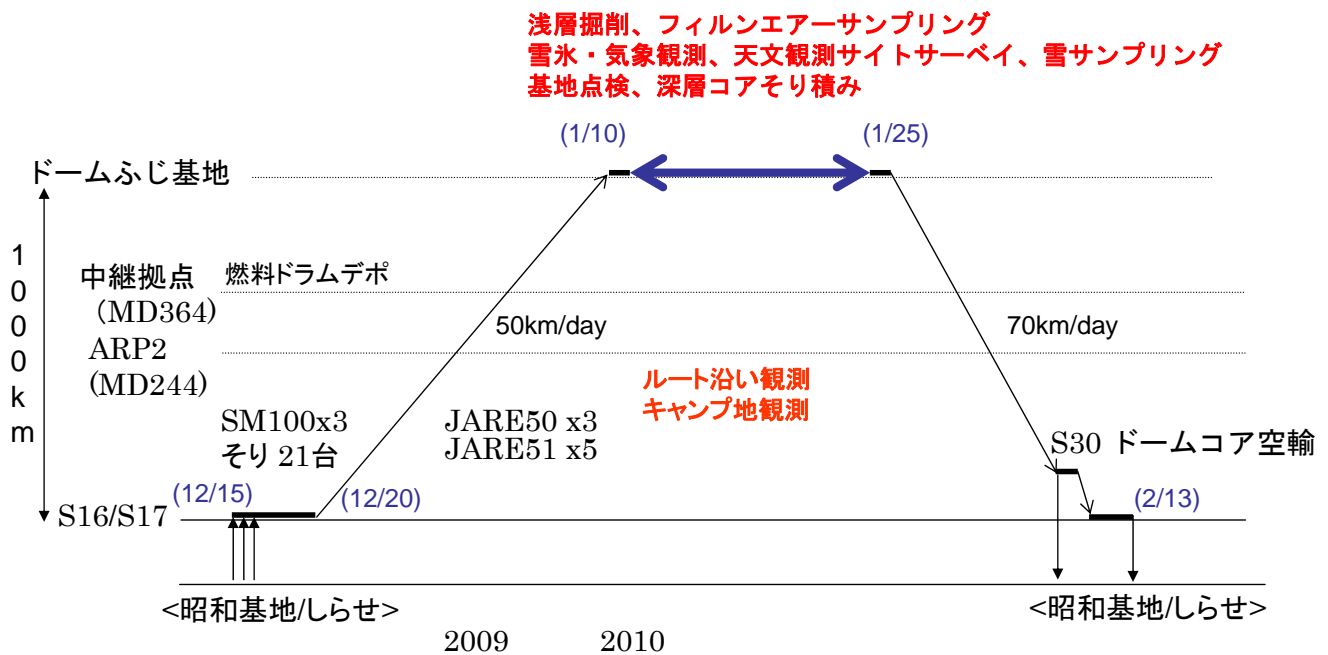
## 第51次夏期内陸旅行実施計画(案)

目的

- 1) ドームふじ氷床深層コア持ち帰り(全部で約600梱あり、51・52次隊で実施)
- 2) ドームふじ基地での120m程度の浅層掘削及びフィルンエアースAMPLING
- 3) ルート沿いの雪尺、雪尺網観測(モニタリング研究観測)
- 4) 降積雪サンプリング
- 5) 雪氷・気象観測
- 6) 無人気象観測装置+無人磁力計のデータ回収及び保守
- 7) ルート沿いGPS精密測位(基本観測点及び集中観測)
- 8) 南極天文観測の基礎調査(公開利用研究)
- 9) 医学的研究
- 10) 次世代の内陸装備調査
- 11) ドームふじ基地の点検(掘削用発電機チェック、基地設備の状況確認)  
コア運搬用リフター設置
- 12) その他



# 第51次夏期内陸旅行実施計画(案)



(しらせから)  
約4.5トン  
観測機材、食糧、装備など  
(昭和基地からは調査中)

冷凍品 中ダン約330梱(9トン)  
一般物資 約2トン  
(廃棄物)

一般プロジェクト研究観測P1 (JARE48-51)

「氷床内陸域から探る気候・氷床変動システムの解明と新たな手法の導入」  
研究代表者PI 藤田秀二

## 第51次夏期内陸旅行実施計画(案)

### 行動概要

新観測船「しらせ」が昭和基地沖からフライト可能

「しらせ」から人員3名+物資のS16へのヘリ輸送

「昭和基地」から人員3名+物資のS16へのヘリ輸送

S16にて出発準備作業(車輛確認、物資そり積み、車載、橋編成)

↓  
往路内陸旅行(50km/日): ルート沿い観測、キャンプ地観測、途中で帰路用燃料デポ

↓  
ドームふじ基地: 2週間程度の滞在

掘削、観測、基地点検、コア持ち帰り、車輛点検、燃料デポなど

↓  
帰路内陸旅行(70km/日): ルート沿い観測、キャンプ地観測、途中で帰路用燃料回収

↓  
S30(標高1000m)にて「しらせ」へ氷コアのヘリ輸送

S16にて車輛・橋デポ、物資デポ、人員、物資の「しらせ」、昭和基地へのヘリオペ



# 内陸ルート図

